

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後クラブ ルンバルンバ原町		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○5領域を網羅した活動内容の実施	保護者からの要望を5領域に合わせて法改正前から実施してきた。職員が5領域の担当を行い、専門性を持った支援を行っている	職員が専門的な研修等を受講し、現場支援を通じてスキルアップを図り、支援の質の向上を目指す。
2	○子どもたち個々の強みを活かした弱みの克服	個別の支援計画に沿って、日々の療育を実施。打ち合わせを行い、担当職員など目的を持って支援し記録。	ルンバで学んだことは、自宅でも外でも行うように保護者へ声かけを継続。学んだことを保護者へ伝達して自宅等で確認してもらう。
3	○就労を見据えた活動の実施	長期休みなどを通じて、就労事業所と連携をとり、就労先見学と就労体験を行っている。	ルンバ事業所見学を行いこどもの取り組み内容を見てもらう。就労先の見学などを保護者同席で実施。今から保護者と一緒に準備を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○児童館や地域子供会との交流の機会について	お互いの受け入れ態勢や特性などの理解不足。長期休みなどで交流できる場所へ訪問してきた。双方の受け入れ体制が課題	児童館の先生にルンバの見学をしていただき、子どもたちの特性などを見てもらい、受け入れについて話し合いの機会を作る
2	○保護者会などの交流機会について	コロナ以前は行ってきたが、コロナ禍に入りさまざまな交流機会が失われたままになっている。一部保護者から要望があるが、交流まで至っていない。	就労施設訪問や事業所見学(ルンバ)などを企画。保護者会に参加できない保護者がいることなども会報などを通じてお知らせし、目的を持って開催検討。
3	○プログラムの固定化について	開所8年経過し卒業生が出てきた。これまでの活動プログラムの成果と考える。昨年度より5領域が始まり基礎・応用を交互に定着まで行っていることが要因	各職員が支援関する引き出しを複数用意できるように研修などに参加する。事業所見学などを通じて、さまざまな活動があることなど保護者へ説明する